

## 平成30年度 学校経営評価（考察）【保護者編】

本校の教育活動に対して、昨年度よりポイントを上げた項目が17、ポイントが同じ項目が6、ポイントを下げた項目が6という評価となりました。全ての項目で高い評価（80%以上）をいただき、保護者の皆さまにはご理解をいただいていると推察しておりますが、一方で下がった項目もありました。より一層の改善・向上に取り組んでまいります。

以下、評価内容について特徴ある項目に対してご報告いたします。

### 【教育目標】

- 「教育目標や教育方針がわかりやすく伝えられている」「教育目標や教育方針が適切である」の項目は、昨年度と比べ1ポイント上昇しました。「教育目標達成のために、生徒の状況をよく把握して学校経営を行っている」の項目は、1ポイント下げてしまいました。今後も、教育目標や教育方針をアピールしつつ、生徒との関わりの中で個々を理解・支援しながら教育目標達成に向け取り組んでまいります。

### 【教育目標具現化】

- 「学校で、家庭学習の習慣が付くような取り組みができて」「家庭で、家庭学習の習慣が付くような取り組みをとっている」は、他の項目の評価率が90%以上であるのに対して、いずれも80%台となっており、今後の課題であるにとらえております。課題解決のためには、ご家庭と学校との連携が不可欠です。学校と家庭の双方で学習を習慣化させることは、学力向上に直接結びつくだけでなく、生涯に渡って学び続けようとする姿勢を身に着けることにもなり、中学生の今がその重要な時期です。今後とも、ご協力の程、よろしく願いいたします。
- 「進路や将来の生き方について指導している」は、4ポイント上昇しました。1年次の「職業人に聞く」講座、2年次の職場体験、3年次の進路指導と、3年間を通して生徒の発達段階に応じた指導を今後とも継続してまいります。
- 「必要な進路指導の情報が生徒や保護者に伝わっている」は、8ポイント上昇しました。ここ数年、インターネット出願等、出願方法等も多様化しておりますが、これまでのデータや経験も蓄積されつつあります。よりの確かな情報提供に努めると共に、子どもたちに対しては、受験を通して、子どもたちの情報処理能力を高め、自立心を育むことも意図して指導してまいります。
- 「特別に支援の必要な生徒など一人ひとりを大切にされた指導を行っている」は、5ポイント上昇しました。学校では、常に一人ひとりの生徒を大切に、個に応じた支援を心掛けておりますが、ご要望・ご意見等ありましたら、お知らせください。物的にお応えできない場合でも、まずは悩みや思いを共有することが大切であると考えます。

### 【学校行事等】

- この項目では、全体として昨年度と同程度の評価を頂いております。今後も、子どもたちの成長を促す行事、生涯を通じてプラスとなるスキルを身に付けられる授業を目指してまいります。一方、学校の1年間のスケジュールは過密であり、全ての保護者の方々が参加しやすい日程の設定は難しいかもしれませんが、今後もより良い形を検討してまいります。

### 【生徒指導】

- この項目については、概ね90%以上の高評価を頂いており、昨年と比べ上昇した項目も多いです。今後さらに、生徒一人ひとりを大切に、時には厳しく時には生徒に寄り添いながら、健全な成長を支援してまいります。また、ご家庭から見て子どもたちの様子で気になること、気づいたことなどがありましたら、すぐにご相談頂くなど、学校と家庭が連携することが最も有効で力強い生徒指導に繋がると考えます。今年度の高評価も、ご家庭のご理解・ご協力があったからこそと、感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。
- 一方、「部活動は子供にとって楽しく、積極的に参加している」は、1ポイントさげてしまいました。部活動は、同じ目標に向かう仲間と共に、切磋琢磨して心身ともに成長する場であると考えます。部活動での「楽しく」「仲間と共に成し遂げる楽しさ」「乗り越える楽しさ」「成長・進歩する楽しさ」ととらえ、指導・支援してまいります。また、部活動の在り方については、全国的に今、過渡期にあります。その潮流を意識しながら、今後の部活動運営に反映させていきたいと考えております。

### 【家庭・地域との連携】

- この項目についても、ほとんどの設問が上昇し、全体としても高評価を頂きました。〔生徒指導〕の欄でも申し上げましたが、学校は、ご家庭や地域との連携、ご理解・ご協力を得ることで、その教育効果を最大限に発揮することができます。今年度の学校評価が全体的に高評価だったことは、〔家庭・地域との連携〕が高評価であることと、決して無関係ではないと考えます。

### 【特別支援教育】

- 一昨年度から設けた「特別支援教育」の項目です。「むつみ学級と他学級の相互理解や交流は、授業や行事の中で行われている」「ユニバーサルデザインの視点から、授業や校内環境は整備されている」は、いずれもポイントが上昇しました。一方、F「判断がつかない（または無回答）」との回答も依然として多く、また、「障害者に関する国の政策や特別支援教育に関する啓発活動は、適切に行われている」は、5ポイント下げてしまいました。学校が、特別支援教育等に関する情報ステーション的な役割を担っていることを自覚し、より一層啓発活動に努めてまいります。保護者の皆様におかれましても、特別支援教育につきまして、ご理解ご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

### 【ご意見・ご要望の中から】

- 生徒・学校生活に関すること  
「生徒が挨拶しない」「登下校時の様子・マナーが良くない。」とのご意見を頂きました。生徒の校外での様子は、教職員の目が行き届かないところでもありますので、このように情報提供頂けることを大変有難く思っております。今後とも、生徒の様子でお気づきの点などございましたら、すぐにお知らせください。迅速に対応してまいります。生徒指導・安全指導は「すぐの対応」が効果を高めます。また、このように学校・家庭・地域が連携して子どもたちの健全育成に取り組む一つの形になります。
- 部活動について  
「部活動運営に問題がある」「勝利至上主義に偏っている」などのご指摘や「指導が不十分で技術の向上が見られない」など、多岐にわたるご意見を頂きました。部活動については、上記〔生徒指導〕の欄でも述べた通り、まず大切にしたいことは、「子どもたちの心身のたくましい成長」や「乗り越えることで体験する成就感や達成感」です。そのためには、部活動顧問、生徒、保護者が同じベクトルで取り組んでいけることが大切です。今後もより良い形を模索してまいります。
- 行事等に関すること  
毎年、行事の時期や実施方法については、最も効果的に行えるよう調整を図っているとところです。今後も、「今できるベストの形」で調整をしてまいります。ご理解の程、よろしくお願いいたします。
- 教職員に関すること  
教師の言動や指導の在り方等について、ご意見ご指摘を頂きました。このことを真摯に受け止め職員会議でも取り上げました。教職員が、改めて自らを省みる良い機会となりました。改善に努めてまいります。
- その他  
今年度の学校評価は昨年と比較しても全体としてポイントが大きく上昇しました。これも、保護者の皆様のご理解・ご協力があつたからこそと確信しております。しかし、現状に甘んじることなく、さらに改善に取り組んでまいります。皆様から頂いた感謝・激励の言葉は我々の大きな励みです。ご意見・ご指摘は改善のチャンスです。これらを職員会議で取り上げ再確認し、可能な限り対応させていただきます。その他検討などが必要なものについては協議し、今後の教育活動に生かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

## 平成30年度 学校経営評価（考察）【生徒編】

生徒用アンケート結果では、昨年度に比べ8の項目で上昇し、9の項目は同じで、ポイントを下げたのは13でした。保護者アンケート結果と同様に、全体としてはほぼ90%以上の評価で、良い状況にあると考えられますが、ポイントを下げた項目については、原因を分析し、対処していく必要性を感じております。

### 【学習について】

- 項目全体として微増微減はあるものの、高い評価率となっています。とは言え、「先生方は授業を工夫するなど熱心である」「先生方の話は分かりやすい」は、それぞれ1ポイント下げてしまいました。この事実を真摯に受け止め、今後も全ての子どもたちが理解できる授業を展開するためにも、教員研修を重ね、より丁寧で分かりやすい授業を心がけてまいります。

### 【学校生活について】

- この項目についても、全体として高い評価率となっています。一方、ほとんどの項目が90%を超える中、「自分の活動について、周囲から信頼されていると感じる」「自分の活動について、先生から信頼されていると感じる」は、昨年を引き続き90%を切っています。「信頼されている」と感じることは自己有用感につながり、学校生活そのものを充実させるとも大きな要素の一つです。子どもたちの自己有用感を高める取り組みや工夫を引き続き行ってまいります。

### 【豊かな心・健やかな体の育成について】

- 「意識して体を動かし、体力をつけるようにしている」が、5ポイント下がりました。中学生時代に身に付けた体力・筋力は、生涯の宝となります。昼休みの校庭などで積極的に体を動かすよう促すと同時に、その大切さを保健体育科の授業等で知識としても学ばせてまいります。またこの結果は、生徒の運動量が全体として低下したというよりは、運動を日常的に行っている生徒と、十分な運動をしていない生徒の二極化の表れだと分析することもできます。
- 「友達に親切にしている」は4ポイント、「仲間と協力して活動している」は、3ポイント下がりました。学校は、人との関わりの中で様々なことを学んだり、自身を成長させたりする場でもあります。そのような機会を意図的に提供したり、背中を後押ししたりすることでポイントが上昇するよう、取り組んでまいります。
- 「自分から積極的にあいさつを心掛け、実行している」「交通ルールを守り、安全に登下校している。」は、それぞれ2ポイント下がりました。保護者の方からのご意見に「生徒の挨拶が減った」「登下校のマナーが良くない」の意見をいくつか頂いた事とも合致します。あいさつやマナーは良好な人間関係作りの第一歩です。今後も、根気強く継続して指導してまいります。
- 「規則正しい生活を送っている」は、4ポイント下がりました。規則正しい生活は、学習面・健康面など全ての活動を支える基盤になるものです。ご家庭と学校で連携し、効果的に指導改善していきたいと考えます。また、この点につきましてご相談事などございましたら、遠慮なくご連絡ください。
- ※今年度の学校評価（生徒用）の最も大きな特徴は、この項目（「豊かな心・健やかな体の育成について」）全体がポイントを大きく下げたところでした。この項目は、生徒自身の「自己評価」という性質がありますので、自分に厳しい評価をしたと考えれば、それも生徒の成長の表れとも取れますが、本校としましては、今年度のこの大きな下降を教育改善の機会としなければならないと考えており、今後検討の上、具体的に取り組んでまいります。

生徒や保護者の皆様、我々教職員にとって学校とは、「生活していて楽しく、安全で安心な場」でなければなりません。また、学校は学力を伸ばすところであり、社会性を身につけ、実践する場でもあります。

生徒・保護者・教職員の共通の願いを実現するために、皆が優しい気持ちで、仲間と協力して活動し、行事に燃え、歌声が響き、気持ちの良いあいさつができる臼井中学校を創っていきたく思います。